

き た は ら

喜多原だより

NO. 9 0

令和8年7月吉日

園長挨拶

令和8年4月に園長に着任しました石橋と申します。前職は総合療育センターに勤務していました。総合療育センターは喜多原学園と同じく児童福祉施設ですが、対象となる児童や施設の役割が違うため、着任当初は非常に戸惑いましたが、子ども達や職員にいろいろなことを教えてもらい、少しずつわからないことがわかるようになりました。



令和8年度の喜多原学園は新たに7名の職員が入り、園長含め31名の職員体制でスタートしました。児童については、1名が中学校に、2名が高校に入学し、男子児童11名、女子児童5名と例年にない賑やかなスタートとなりました。

喜多原学園の併設学校である福生中学校いずみ分校、福生東小学校分教室（今年度は小学生0人なので現状では開設なし）の先生方も教頭先生を始め、フレッシュな顔ぶれとなり、日々子ども達と学習に取り組んでくださっています。集中して学習やテストに取り組める日、体調や気分によらずに不調がありクラス全体が落ち着かない日などありますが、一人ひとりに根気強く丁寧に関わり、学園職員と共に子ども達の学びなおしを支えてくださっています。

また今年度も野球やバレーボール等、中国地区大会を目指してスポーツ活動にも取り組んでいますが、経験したことのない児童も一所懸命練習に取り組んでいます。全国の児童自立支援施設から届く広報誌に掲載されていた記事に「人生というのは思いどおりになることばかりではありません。生まれてくる場所、どんな自分で生まれてくるかも自分が選んだ訳ではない。過去は変えられず、未来はまだ予想もつかない。そんな中、不安な気持ちも納得できない気持ちも受け入れ、今日〇〇（施設名）に在ることを受け入れ、今この瞬間を懸命に生きる子どもたちの姿に、人間としての強さと美しさを感じます。」とありました。喜多原学園の子ども達を見ていると、本当に強く美しいと感じる毎日です。

今年度も、当園の理念（「子どもが自立し、社会と調和して生活することを支援する」）の実現を目指し、自らの力で考え、行動していけるような経験の提供、気持ちの共有に職員一同取り組んでいきます。保護者の方々を始め、関係機関、後援会の皆様には引き続きご理解やご協力、あたたかいご声援をどうぞよろしくお願い申し上げます。

（園長 石橋 弥雪）

寮紹介

〈男子寮〉

新年度になり、シン・男子寮がスタートしました。そして、新入児童も数名加わり、児童も職員も個性豊かで活気ある雰囲気の中で生活しています。子ども達は、実に様々な喜怒哀楽をストレートに表現してきます。毎日がドラマチックです。嬉しく楽しいやりとりもあれば、「うざい」「イライラする」「ムカつく」etc。ネガティブな感情に対しては思いをキャッチする必要があります。無断外出、暴言・暴力、喫煙などの行動の根底には困り感や何かしらのSOS・サインもあります。個別対応で内省や必要な謝罪等の責任を果たすまでの支援をしています。



7月には中国地区の野球大会があります。純粋な子ども達は、「やるからには勝ちてえ～」と一生懸命ルールを覚え、練習しています。全員野球で心をひとつに、その後の寮生活でも野球を通して得たチームプレー、コミュニケーションが活きてきたらいいな、と思います。



中々思うようにいかない面もありますが、子ども達には必要な目をかけ、手をかけ、自分を大切にすること、仲間を尊重し大切にすること、そして、自分らしく生きる事の大切さに気付いてもらいながら成長を促していきます。

(指導課長補佐 小谷 智志)

〈女子寮〉



今年度の女子寮は児童5名でスタートしました。

「気持ちを言葉にすること」「話し合うこと」をこれまでと同じように大切にしています。自分とまわり、お互いの気持ちを大切に折り合いをつけながら、自分たちで生活をつくっていくことを目指しています。

それぞれの環境で育ってきた人の価値観は違って当たり前。昨年度は、生活場面のさまざまなテーマについて、付箋ワークをして価値観を広げてきました。最近も子どものほうから「じゃあ、付箋ワークする？」と提案がでることもありました。



また、職員は寮会（職員会議）の場で、児童の強みやいいところについて話し合う時間を作っています。私はこの時間で、子どもたちはもちろん、その強みを見つけられる職員についても尊敬と信頼の気持ちを感じることができています。

大人の予想を超えるメチャクチャなことも起こる毎日。それでも、繰り返し話し合いながら、笑いに変えていける毎日。これからも楽しみで仕方ありません。

(女子寮長 加川 綾子)

観桜会

毎年新年度の初めに、「観桜会」を実施しています。桜を観ながらBBQをし、児童、分校の先生、学園職員が親睦を深めています。今年は天候があまり良くなく、開始直前まで外で実施できるのか…と悩みました。しかし、「外でやろう！」と決めてから、少し風は強いものの、終了まで雨が降ることなく実施できました。全員が自己紹介のなかで「好きなお菓子」を発表し合い、こどもも大人もたくさん笑顔が見られました。

(男子寮職員 中島 萌々子)



〈寮行事〉

寮のテラスで BBQ ✨



公園でピクニック 🍱

いちご狩り 🍓 & パフェ作り

マイナスイオンの滝



女子寮

春の遠足

1 学期始業式の翌日である 4 月 10 日、大山青年の家へ遠足に行きました。「役割を果たすこと」「思いやりをもって行動すること」を目標に、さまざまな活動に取り組みました。今にも雨が降り出しそうな空模様でしたが、午前中のメイン活動である野外炊事では天気がもち、調理係と薪割り係が協力して美味しいカレーライスを完成させました。大自然の中で食べる味は格別で、食後には鍋をピカピカに磨き上げる生徒の姿もありました。午後からはパラリンピック種目の「ボッチャ」で盛り上がり、ウッドクラフトやウッドバーニングでは木の温もりを感じる素敵なオリジナル作品を仕上げました。

仲間との絆が深まる、新学期の素晴らしいスタートとなりました。

(いずみ分校 教諭 山根 壮平)

〈児童コメント〉

みんなおいしそうにたべてよかった。りょうり上手だった。安全にすごしてた。(女子児童 M さん)



野球大会意気込み

今年度、野球監督の責を負った光宗と申します。今年の野球練習を迎えるにあたり、「アウトってなんですか?」「セカンドベースってなんですか?」という言葉聞き、衝撃を受けました。指導の土台がなく、会話が成り立たない。元々入所してくる児童はここに野球を、バレーをしにきたわけではない。ということは頭の片隅で理解していたのですが、まだまだ自分は甘かったと痛感しました。という話しはあっても、野球という役割が明確なスポーツは児童自立と相性が良く、各々のポジションで、各々の役割を与え、それに邁進することが勝利につながるという気持ちで、児童らに自分の仕事を全うして欲しいと思っています。その結果が優勝なら最高ですね。

(男子寮職員 光宗 哲平)



〈児童コメント〉

7月8日～10日にかけて広島で野球大会があります。それに向けて僕たちは、野球練習で1人ひとりが普段から声を出してがんばっています。例えばノックでは球を呼ぶ声を出したり、バッティングにて特にピッチャーやキャッチャーに対して励ましの声援をしたりとチームとしてまとまってきたと思います。

本番の大会、試合でも声出しからがんばっていき、他のどのチームよりも声出して負けないようにがんばります。

(男子寮児童 Mさん)

子どもの権利擁護推進

喜多原学園では「当事者の参画（自分たちに関わることについて、自分たちで意見を伝えあい、自分たちで決め、自分たちでやる）」を目指し、10年前くらいから生徒会活動を行っています。始めは大人が指名した児童に役員を担って貰っていましたが、近年は立候補と児童による投票で会長と2名の副会長を決めています。生徒会を支える大人も、学園職員のみであったところに、本園併設のいずみ分校の先生にも力強く協働いただくようになりました。

今年度の生徒会のスローガンは役員3人のそれぞれの選挙時の演説をまとめ「みんなが楽しく、平等に過ごせる学園・分校」です。現在、本園併設のいずみ分校では児童の教員への反発や無気力、複数の児童が同時に授業を抜けて保健室で休んだりすることがあるなど、みんなで前向きに学習に取り組みにくい雰囲気があります。そこで、6月に生徒会役員が集まって今の分校での自分たちの姿を振り返り、①授業中の態度をよくしよう！②授業中に下に降りるのはやめよう！③学校指定でないものを身に付けるのはやめよう！（そしてみんなで声をかけあって自分たちの力でよくしていこう）を重点目標として決め、生徒会として全児童に対して呼びかけてくれました。それをきっかけに、ほんの少しずつではありますが、児童が自分の意思で自分の力を出そうとする姿も増えてきているようには感じます。まだまだまだ道のりではありますが、子どもの自主性（主体性）を大事にしながら、あきらめず伴走し続けていきたいと思っています。

(指導課長 堀江 健太郎)

令和8年度着任職員挨拶

【学園】

〈係長 西谷 明日香〉

今年度から配属となりました西谷です。初めての学園勤務で、日々、新しい出来事に会いますが、子ども達と楽しみながら積み重ねていければと思っています。どうぞよろしくお願いします。

〈係長 光宗 哲平〉

今年度着任した光宗と申します。私は喜多原学園と児童相談所を往復し、児相で最高体重を記録し、学園で健康に近づき、また児相で不健康に近づくというサイクルを繰り返してます。今年はその負の連鎖を断ち切ります。

〈直接処遇指導員 宮邊 満〉

4月1日から、直接処遇指導員として勤務しています。長年、中学校に勤務していましたので中学生のみなさんの気持ちや考え方が、少し理解できるのではないかと思います。学園のみなさん、よろしくお願いします。

【いずみ分校】

〈教頭 瀬川 喬介〉

この度、米子市立後藤ヶ丘中学校より教頭として参りました。誠心誠意、子どもたちと向き合い喜多原学園の理念、自立と調和を大切に、学校教育目標である社会貢献のできる生徒の育成を目指して教育活動に邁進していきますので、よろしくお願いいたします。

〈教諭 中島 孝仁〉

4月の多くの児童たち、職員の方々との新しい出会いを大変嬉しく思っています。大山の見えるこの学園で、春夏秋冬、変わりゆく季節の中で、学習・行事を通して多くのことを学ぼうと思っています。よろしくお願いします。

〈講師 忌部 秀哉〉

はじめまして。大山町立小学校から参りました忌部と申します。よろしくお願いいたします。国語を担当しています。皆さんの持つ国語のイメージが少し柔らかくなればいいなと思って頑張ります。

〈講師 尾崎 朱美〉

3年ぶりのいずみ分校勤務となりました。3年生を担当させていただきます。ポプラ並木の間から碧い海が見える喜多原学園は、大山に抱かれた抜群のロケーション。文字通り喜びいっぱいの活動を皆さんと創りたいです。メロンパンと一斤（愛犬）と中島みゆきが大好きな英語教員です。よろしくお願いします。

〈講師 吉本 頌平〉

初めまして、今年度米子市立弓ヶ浜中学校より異動してきました。喜多原学園に初めて来たとき、きれいな学校で澄んだ空気を感じることができる学校だなと思いました。自立支援施設に併設の学校という、難しい反面やりがいのある学校に赴任できたことをとてもうれしく思います。授業は理科を担当いたします。よろしくお願いいたします。

〈講師 伊木 真由美〉

ご縁があって、いずみ分校に着任しました。家庭科を担当します。専門は国語ですが、栄養士と調理師の資格があります。生徒のみなさんと食を中心に据えた家庭科を学んでいけると嬉しいです。よろしくお願いします。

教職員の異動

【学園】

(令和8年3月31日付)

転任	園長	坪倉 嘉隆	(倉吉児童相談所)
	係長	永田 博文	(福祉相談センター)
	係長	赤井 智絵美	(皆成学園)
退職	係長	藤原 敦	
	直接処遇指導員(会計年度任用職員)	木村 博明	
	心理療法担当職員(会計年度任用職員)	村上 衡	

(令和8年4月1日付)

着任	園長	石橋 弥雪	(総合療育センター)
	課長補佐	小谷 智志	(米子児童相談所)
	係長	西谷 明日香	(皆成学園)
	係長	光宗 哲平	(米子児童相談所)
	児童自立支援専門員	長岡 廉也	(新規採用)
	直接処遇指導員(会計年度任用職員)	宮邊 満	(新規採用)

【分校・分教室】

(令和8年3月31日付)

転任	教頭	吉村 崇志	(米子市立加茂中学校)
	教諭	古山 陽一朗	(米子市立福米中学校)
	教諭	米田 達司	(米子市立湊山中学校)
	講師	武部 慈子	(米子市立後藤ヶ丘中学校)
	講師	並里 育子	(米子市立後藤ヶ丘中学校)
	講師	林谷 勉	(米子市立福米中学校)
	講師	谷本 孝文	(米子市立福生東小学校(本校))

(令和8年4月1日付)

着任	教頭	瀬川 喬介	(米子市立後藤ヶ丘中学校)
	教諭	中島 孝仁	(米子市立福米中学校)
	講師	忌部 秀哉	(大山町立大山小学校)
	講師	尾崎 朱美	(米子市立福米中学校)
	講師	吉本 頌平	(米子市立弓ヶ浜中学校)
	講師	伊木 真由美	(大山町立中山小学校)

令和8年度 後援会役員 ※敬称略・順不同

会 長	赤沢 亮正	委 員	関山 公郎	岩見 忠治
副 会 長	上森 英史 鶴木 真理子		仲倉 昭雄	乗本 学
事務局長	馬詰 俊哉		石橋 弥雪	前田 耕次
監 事	中川 正純 松永 芳久		堀江 健太郎	

昨年度、後援会費はスポーツ活動費、生徒会活動、スキー・スノーボード体験費等に使用させていただきました。あらためてお礼申し上げます。今後も後援会活動へのご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

後援会加入のお願い

喜多原学園では随時、後援会の会員を募集しています。皆様のご支援が学園で暮らす子どもたちの支えになります。

【会費振込先】(口座名)鳥取県喜多原学園後援会

(口座記号)0 1 4 4 0 - 2 (口座番号)4 0 6 6

※一口1,000円から募集しています。趣旨にご賛同いただける方はご協力よろしくお願いいたします。

年間行事予定

4月 入学式、観桜会、分校遠足	10月 バレー大会、こたか保育園交流②
5月 こたか保育園交流①、乗馬交流①	11月 駅伝大会、園遊会、乗馬交流②
6月 田植え	12月 こたか保育園交流③、クリスマス会
7月 野球大会、プール開き	1月 スキースノボ体験
8月 海水浴、寮行事	2月 各種講演会
9月 キャンプ、稲刈り	3月 卒業生を送る会

お知らせ

全国児童自立支援施設協議会は機関紙「児童自立と WITH の心～児童自立支援施設の実践～」を発行し、毎年度いろいろな特集テーマで実践知を蓄積しております。

同協議会ホームページより閲覧可能です。



喜多原学園では現在、夜間支援員、心理療法担当職員（会計年度職員）を募集しています。

詳細はこちらから！



児童活動紹介

3年生の国語の授業で俳句を作りました！

ぼんやりと 屋台の灯が見える 夏祭り(Yさん)
 寒かった 今はあたたかい 十四さい(Mさん)
 いちご狩り 心に染みる さつきかな(Sさん)
 シャボン玉 つかまえたけれど たかすぎる(Uさん)
 冬の夜 ペンを光らす 仲間達(Sさん)
 夏の夜 月より光る ホタルの火(Rさん)
 帰り道 手を温める 白い息(Rさん)

2年生の調理実習でバナナケーキを作りました！



児童在籍情報(7月1日時点)

	中学生	中卒	計
男子	8名	3名	16名
女子	5名	0名	

編集発行

鳥取県立喜多原学園

鳥取県米子市泉706

TEL 0859-27-1101

FAX 0859-27-1611